



「安全体感ミーティング」に  
パートナー、ドライバーも参加



全員でタッチアンドコールを実施



「安全に届けきったことは大きな成果」と加藤社長

会社では安全を第一義とし、人にも、商品にも、社会にもやさしい物流を実現することを目指しており、パートナー、ドライバー、従業員、従業員の安全確保を事業の中で最も重要な課題として

●災害リスクの再点検、  
届け先のハザードマップを更新

キリンググループプロジェクトス(本社・東京都中野区、加藤元社長)では7月1〜7日の全国安全週間に合わせてトップ層による拠点巡回を実施し、7日には加藤社長が巡回したキリングビル横浜工場構内で「安全体感ミーティング」を行った。昨年4月に社名変更し、新体制になって以降、本社物流部に「安全・品質・環境室」を新設。グループが掲げる「キリング品質」を物流面でもさらにレベルアップさせるため、安全・品質・環境にかかわる抜本的な見直しを進めている。今回の「安全体感ミーティング」も安全・品質・環境室が企画した新たな試みで、パートナー会社の作業員やドライバーも参加のもとフォークリフトと人との接触リスクと転落事故のリスクを体感した。

位置付けている。今回の全国安全週間では、1日に社長メッセージを全社員に配信。「Safety First(安全はすべてに優先する)意識の定着に向けた諸施策の一環として、トップ層自らが安全を重視し、パートナーとともに安全をつくり上げる思いを具現化することを目的として、トップ層による拠点巡回を実施した。なお、全国安全週間期間中に、同社の24拠点で安全に対する取り組みを行う。

加藤社長は「昨年4月からの新体制では、目玉として岡(義人)室長率いる安全・品質・環境室という新組織を立ち上げ、今までは違った新しい取り組みをしていこうとしている。当社のホームページ(HP)でもキリング品質を全面的に打ち出しているが、言うまでもなく、パートナー、ドライバーも含めた我々一人ひとりの安全があった上で成り立っている」と挨拶。

全国安全週間に先駆け、6月には、重大災害防止規定に基づく災害リスクの再点検、届け先のハザードマップの更新を行ったことを明らかにし、「改善は際限のないアクションであり、継



キリンググループプロジェクトスが「安全体感ミーティング」

昨年新設した「安全・品質・環境室」を中心に新たな試み

岡県掛川市)、浜松運送(浜松市)、大阪ガスビジネスクリエイト(大阪市西区)、西京運輸(京都市伏見区)、第一運輸作業(兵庫県西宮市)、鴻池運輸(大阪府中央区)、桃平運輸

(神戸市須磨区)、社会福祉法人わかば会(高根県邑智郡)。このうち鴻池運輸は、京都府、大阪府、兵庫県を提供区域として90<sup>センチ</sup>・4<sup>キロ</sup>超の信書便の送達業務を8月1日から開始する。



小野社長(右)と尾鷲物産の副社長(左)が握手する。背景には「centra」のロゴと新鮮な野菜のディスプレイが写っている。



フォークリフトを使った実演により、体感での立場、役割を超えて安全第一に努めます」との安全宣言を行った後、全員でタッチアンドコールを実施。「安全体感ミーティング」に移った。

続いて「すべての立場、役割を超えて安全第一に努めます」との安全宣言を行った後、全員でタッチアンドコールを実施。「安全体感ミーティング」に移った。フォークリフトと人との接触

●フォークリフトの実演、マネキン、カボチャを使い体感

セントレアからブリの本格輸出がスタート

尾鷲物産の『高知すくもの夏ぶり』3000kgがCX便で出荷

三重県尾鷲市でブリ(ハマチ)の生鮮加工・販売を手掛ける尾鷲物産(小野博行社長)は6日、中部国際空港(セントレア)から台湾に向けて『高知すくもの夏ぶり』を初出



マネキンを使用し、過去の転落事故を再現

のリスクについては、後進時の爪の外振れや内輪差、前進時の後輪やカウンターのオーバーハングを、フォークリフトを使った実演により体感。転落事故のリスク体感には、キリンR&D本部テクノアカデミーから講師を招き、まず保護具(安全ベスト・ヘルメット)の正しい着用方法や指差呼称の正しいやり方を学び、全員で実践してからスタートした。

「落下衝撃測定装置」を使用して落下時の衝撃を測定し、高所から転落した際に人が受ける衝撃の大きさを数値で示すとともに、マネキンを使って過去の転落事故を再現しながら、頭部や足部等の受傷を説明。とくに頭部に衝撃を受けた場合の重篤さについては、頭がい骨の固さに近いとされるカボチャを使い、保護具をきちんとつけたカボチャとつけていないカボチャが受ける衝撃を比べリスクを体感した。